



痛みを伴わない疾患の予後未来体験ソフトウェアに関する開発・事業化

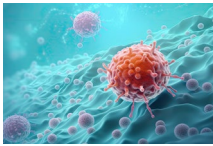
研究開発代表者: 渡邊 毅 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 予防医学分野)

背景・市場規模

循環器疾患



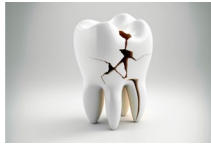
がん



糖尿病



う蝕(むし歯)



これらの疾患は生活習慣の改善で予防できることが多い、
というのは分かっているけれど生活習慣の改善は難しい。
→生活習慣指導がうまくいかずに医療従事者を悩ませている。

本研究開発ではまず世界で最も多い疾患で、3人に1人が未処置歯をもつう蝕(むし歯)の予防ツールの開発を行う。

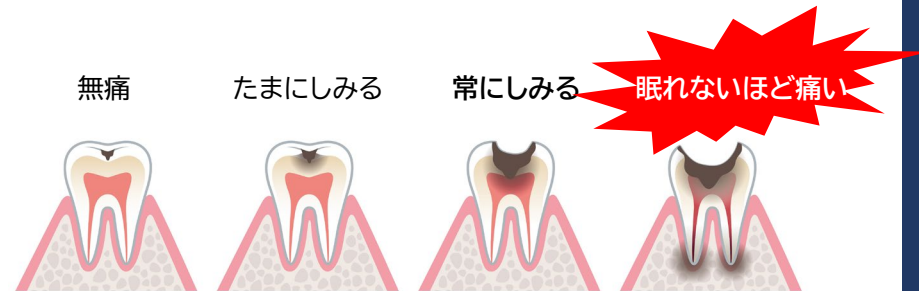
ビジネスモデル、ビジネス開始時期

- ・医療従事者向けに、患者の生活習慣指導を行う際に役に立つツールとして開発。
- ・令和6年度にむし歯の予防ツール開発、効果検証を完了予定。
- ・令和7年度以降にビジネス開始予定。
- ・順次、その他の疾患の予防ツールの開発も行っていく。

研究紹介

仮想空間上で悪化した症状を体験し、「ああ、こんなにつらい病気なのであればなりたくない、生活習慣を改善しよう!」と患者さんが思ってくれるソフトウェアを開発する。

- ・PCやタブレットの3Dディスプレイで体験
- ・視覚や聴覚から痛みを感じさせる。(クロスモーダル)
- ・むし歯が悪化していく過程を自分の口腔内画像で未来体験。



山本健詞先生、水科晴樹先生
(徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所)
渡邊佳一郎先生
(徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学)
との共同研究開発を行う。